

## 平成 30 年度事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

### 1、事業の成果

高次脳機能障害者と家族に対し、相談会を県下 5 カ所で実施した。今年度は、当法人が単独で主催する講演会は実施しなかった。しかし、広島市、廿日市市との共催による講演会のほか、他県からの要請や医療機関、福祉にかかわる団体、行政機関等からの依頼を受けて話をする機会は多かった。また、事務所（上安）での個別相談件数が増加した。

### 2、事業内容

特定非営利活動にかかる事業

#### （1）高次脳機能障害及びその家族への支援に関する事業

【相談支援事業】

決算 715,804 円

場所・日時	内容
廿日市相談会	地域の拠点病院廿日市記念病院の ST の参加により、記念病院で高次脳機能障害者の神経心理学検査ができるようになり、診断書を書いて貰えるようになった。
日 時	参加人数も多く、家族同士が学びあう場になっている。
場 所	毎月第 3 木曜日 10:00～12:00
受 益 者	廿日市総合福祉センターあいプラザ 当事者家族延べ人数 85 名 医療等関係機関 40 名（廿日市記念病院 S T, M S W, メープル法律事務所）
広島市中区相談会 （広島市高次脳機能 障害支援事業）	生活相談：専門家と家族体験者がグループ形式で実施している。 参加した家族のそれぞれの悩みや対応法を話し合いながら、参加したみんなで解決策を考え、お互いの学びとなっている。
日 時	個別相談：生活での対応法、交通事故示談、福祉サービス利用について 毎月第 2 火曜日 生活相談:10:00～12:00（グループ形式で）
場 所	個別相談：13:00～16:00（予約制）
受 益 者	広島市中区地域福祉センター 5 階 当事者家族延べ人数 114 名 医療等関係機関 45 名（保健師、生活保護担当、就労継続支援 B 型職員 精神デイケア相談員、メープル法律事務所）
	個別相談 22 件
呉 相 談 会	参加人数は大きく変わっていない。
日 時	毎月第 4 木曜日 14:00～16:00
場 所	呉市つばき会館

受 益 者	当事者家族延べ人数 70 名 医療等関係機関 19 名（メープル法律事務所）
備後地区相談会	参加者数はほぼ横ばいである。公立みつぎ総合病院のリハスタッフ、福山リハビリテーションセンターの相談員も継続して参加している。
日 時	毎月第 2 金曜日 10：00～12：00
場 所	三原サンシープラザ
受 益 者	当事者家族延べ人数 110 名 医療等関係機関 52 名（みつぎ総合病院 OT, ST, SW, 福山リハビリ病院 ST, SW, 基幹相談員クローバー, 太田記念病院 ST, OT, メープル法律事務所）
東広島相談会	参加者は増加傾向。専門機関である高次脳機能センターの職員の参加も増えた。
日 時	毎月第 3 火曜日 13：30～15：30
場 所	広島県立障害者リハビリテーションセンター 2 階多目的室
受 益 者	当事者家族延べ人数 74 名 医療等関係機関 41 名（高次脳センター支援コーディネーター, 看護師, メープル法律事務所, B 型事業所職員）
実施成果	・全体的な参加人数は変わっていないが、新しい参加者が増えている。 特に今年度は個別相談が多く、中区の月 1 回では対応できなくて、事務所での対応が多かった。
・当事者家族延べ 利用人数 453 名	
・医療等関係機関延 べ参加人数 188 名	
・上安事務所での個 別相談	88 件

## （２）障害者総合支援法に基づいた福祉サービスに関する事業

### 【クラブハウス・シェイキングハンズ】

#### チャレンジ（就労移行支援事業）

決算 20,942,087 円

内容	自分に合った働き方を考え、就職活動に取り組む場として、一般企業に就職したい高次脳機能障害者を支援している。障害特性を整理し、職場実習を通して自分に合った仕事と職場を探すなど、一人一人の状況に合わせたサポートを実施している。就職後も定着支援を提供している。
事業日程	通年月曜～金曜 10：00～15：00
場所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者	サービス管理責任者・就労支援員・生活支援員・職業指導員
受益者	定員 10 名 利用実人数 6 名
実施成果	一般就労 4 名 新規利用者 5 名 就労継続 B 型へ 1 名 デイケア 1 名

### ワークステージ（就労継続支援 B 型）

内容	仲間と共に自分の障害と向き合い、就労に向けての準備をする。プログラムの内容として、コミュニケーション訓練を充実させ、月ごとの目標設定と振り返りを行っている。利用者のレベルに合った質問や言葉がけなど、スタッフの工夫により、当事者同士、お互いに対する気づきや配慮ができるようになっている。70 歳代の利用者が退所となった。
事業日程	通年 月曜日～金曜日 10：00～15：00
場所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者	生活指導員・職業指導員
受益者	定員 10 名 利用実人数 14 名
実施成果	就労移行支援（チャレンジ）へ 4 名 退所 1 名 他就労継続支援 B 型 1 名 新規利用者 7 名

### 就労支援事業（当事者工賃事業）

決算 1,578,863 円

内容	ベルテガーデン清掃、広島市就労支援センター内職 清掃作業はグループで実施。 内職作業は仲間とコミュニケーションを取りながら実施。 みかんの受注、発送手続き
事業日程	通年月曜日～金曜日 10：00～15：00
従事者	サービス管理責任者・生活指導員・職業指導員
実施成果	作業をグループで実施することで、仲間とのコミュニケーションの訓練になっている。また、一般社会での作業を模して、あいさつ、声かけ、作業の分担等を配慮し合うことを学んでいる。清掃作業を通してその人の能力を観察でき、時間経過による変化が分かる。 今年度は新たな工賃向上のための作業として、みかんの受注と発送手続き作業を追加した。想定以上の売り上げがあり、工賃の上乗せが出来た。

### （3）高次脳機能障害者の一般社会への啓発活動に関する事業

決算 897,146 円

H30 年 7 月 28 日 広島市地区勉強会 広島市との共催講演会 （広島市中区地域福祉センター） 参加者 140 名	演題「知っておきたい高次脳機能障害」 第 1 部 講演 ① 「知っておきたい高次脳機能障害」 講師：本多留美（当法人理事・広島市都市学園大学 言語聴覚専攻科教授） ② 「知っておきたいエピソード～見えない障害に気づくポイント」 講師：山田京子・藤原希恵・守下潤子（クラブハウス・シェイキングハンズ職員）
--	--

<p>H31年3月21日 廿日市市との共催講演</p> <p>参加者 80 名</p>	<p>演題「もっと知ってほしい、高次脳機能障害のこと」</p> <p>①「高次脳機能障害の知識と相談場所」 講師：森山潤一さん（廿日市記念病院リハビリ技術科長）</p> <p>②「報告と質問タイム～悩んでいた人が相談したいことで良いつながりが」 講師：藤原隆博さん（廿日市記念病院リハビリ技術科副主任） 濱田小夜子（サポートネットひろしま理事長）</p>
<p>冊子・パンフレット</p>	<p>「知っててほしい！高次脳機能障害」700冊</p> <p>・ホームページでの情報発信</p>

#### (4) 高次脳機能障害者及びその家族への支援に関する事業

(啓発・広報事業に含まれる)

<p>家族交流会</p> <p>平成 30 年 4 月</p> <p>平成 30 年 7 月</p> <p>平成 30 年 10 月 7 日</p> <p>平成 30 年 10 月 7 日</p> <p>平成 30 年 10 月 19 日 ・ 20 日</p> <p>平成 30 年 10 月 27 日 三原市民健康福祉祭り（サンシープラザ）</p> <p>H30 年 12 月 1 日 竹原・若竹事業所祭り</p>	<p>毎月第 2 火曜日 中区相談会の後、13 時～15 時まで 場所：広島市中区地域福祉センター5 階</p> <p>日本脳外傷友の会代表者会議に参加し、厚生労働省、国土交通省に、出向き話し合う。</p> <p>高次脳機能障害地域ブロック会議 in 島根 は豪雨のため中止</p> <p>パイロットウォーク雨天中止</p> <p>損保助成金高次脳機能障害リハビリ講習会 第 1 部「見えない障害のむつかしさ」 講師：渡邊修さん (東京慈恵医科大学リハビリテーション医学講座教授)</p> <p>第 2 部「高次脳機能障害が生じている方への支援」 ～心理師として～ 講師：山口加代子さん (横浜リハビリテーションセンター臨床心理士)</p> <p>日本脳外傷友の会運営委員会 日本脳外傷友の会全国大会 in 三重</p> <p>当事者 3 名がマジックを披露 会場の皆さんにとっても感激された。 回をこなすごとに余裕が出てきている。</p> <p>若竹事業所のお祭りにマジックショーで参加 皆さんに喜ばれた</p>	<p>参加者 40 名</p> <p>濱田・守下</p> <p>参加者 130 名</p> <p>濱田 当事者家族 25 名 参加者 100 名</p> <p>当事者家族 9 名</p>
--	---	---

その他この法人の目的を達するために必要な事業

<p>依頼を受けての講演等</p> <p>＊H30年8月5日（日）</p> <p>奈良高次脳機能障害リハビリテーション講習会</p> <p>200名</p>	<p>演題「高次脳機能障害の就労支援」</p> <p>講師：濱田小夜子（サポートネットひろしま）</p> <p>家族相談会の事もお話をしたため、後日奈良の家族会へ行政から相談会実施に予算が付いた。</p>
<p>H30年9月26日（水）</p> <p>廿日市記念病院職員研修会</p> <p>廿日市記念病院内</p> <p>60名</p>	<p>演題「退院後生活で何が起きているのか」</p> <p>講師：本多留美（広島都市学園大学 言語聴覚士専攻科教授）</p> <p>濱田小夜子（高次脳機能障害サポートネットひろしま）</p> <p>地域拠点病院の院内研修会に、高次脳機能障害について、家族の話から生活の問題を聞いていただけた。</p>
<p>H30年12月2日（日）</p> <p>西区民生委員児童委員会</p> <p>於：西区福祉センター</p> <p>参加者 80名</p>	<p>演題「高次脳機能障害とは」～普通に見えるけれど深刻な障害です～</p> <p>講師：濱田小夜子（サポートネットひろしま）</p> <p>発達障害の講演会は良く聞くけれど、高次脳機能障害については初めての人が多く、大変興味を持って聞いていただけた。</p>
<p>H30年12月8日（土）</p> <p>廿日市人権フェスタ</p> <p>さくらピア大ホール</p>	<p>演題：「高次脳機能障害とは」</p> <p>濱田小夜子</p> <p>廿日市市主催の人権フェスタで高次脳機能障害についてお話をした。</p>
<p>H31年2月22日（金）</p> <p>南区民生委員児童委員会</p> <p>南区役所別館大ホール</p>	<p>演題「高次脳機能障害とは」～普通に見えるけれど深刻な障害です～</p> <p>講師：濱田小夜子（サポートネットひろしま）</p> <p>西区に続いて、南区の児童民生委員さんの研修で高次脳機能障害について、お話をした。高次脳機能障害の言葉は知っていたが、具体的な話は初めてで、思い当たる人がいると言われた。</p>